

カナダの金融市場動向 Weekly Report

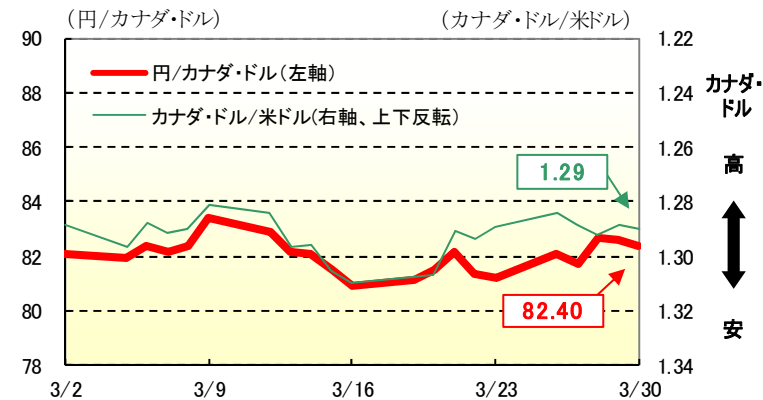
【2018年3月24日～2018年3月30日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は上昇し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、米国が中国の対米投資を制限するために国際緊急経済権限法の発動を検討しているとの報道があったことなどを背景に、米国の金利が低下したことなどが、カナダの金利やカナダ・ドルの低下圧力となりました。また、カナダで月次GDP(国内総生産)が発表され、石油・ガスセクターが設備の臨時メンテナンスのため操業停止を行ったことなどを主な要因として、前月比では-0.1%、前年比では+2.7%と市場予想を下回る結果となりました。一方で、株価が堅調に推移するなど、市場のリスク回避的な姿勢がやや後退したことから、円安が進み、カナダ・ドル円は対円で上昇しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年3月2日～2018年3月30日)



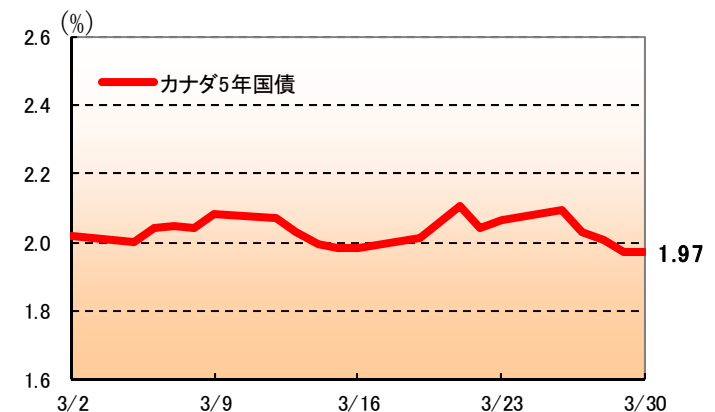
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダや米国で雇用統計や貿易収支の発表があります。カナダの雇用統計においては、賃金の伸びが前月から加速し、失業率も前月と同様、低水準が予想されています。堅調な結果となった場合には、利上げ期待が高まり、金利やカナダ・ドルの上昇圧力になるとみています。

また、足元で米国が鉄鋼やアルミ製品に関税を導入したことで中国が米国産の豚肉や果物などに報復関税を導入するなど、米中の通商関係の緊張が高まっています。今後さらに米国が保護主義的な政策を進め、他国との緊張が高まった場合には、市場のリスク回避的な姿勢が強まりやすいとみています。

【カナダ 金利推移】 (2018年3月2日～2018年3月30日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>